

Q てんかん発作はどのようなものですか？

「てんかん発作」は、脳の一部からおこるもの（部分発作）と、脳全体からおこるもの（全般発作）にわけられます。

発作のタイプも、意識がなくなるものから、意識がはっきりしているもの、また身体の一部がけいれんするものから、全体がけいれんするものなど、さまざまなものがあります。

Q てんかんの治療にはどのようなものがありますか？

てんかんの治療の中心は、薬（抗てんかん薬）による治療です。抗てんかん薬は発作をおきにくくします。我が国では約20種類の薬が使われ、また、日々、新しい薬が開発されています。

薬のほかに、脳の手術などが行われる場合があります。

薬による治療で発作の大部分は止まりますが、長い間、薬を続けなければならない場合があります。忘れずに服薬をしましょう。

疲れすぎや睡眠不足が続くと、発作がおきやすくなります。健康を保つために、よい生活習慣を身につけましょう。



Q てんかん発作がおこった場合、どうすればよいですか？

てんかん発作のほとんどは、1分～数分たてば自然に止まります。すぐに救急車をよぶ必要はありません。あわてずに様子を見てください。

発作がおきたとき、まわりに熱いものやとがった物があれば、ケガをしないよう遠ざけましょう。また、口の中に物を入れたり、体を押さえることはしないでください。

Q てんかんをもつ人への支援はどうすればよいですか？

てんかんを正しく理解することから、支援がスタートします。

てんかんをもつ人は、学校生活、仕事探しや職場、家庭や地域での生活など、さまざまな悩みをかかえています。周囲からの正しい理解がえられず、悩んでいる人も大勢います。

てんかんについて、てんかんをもつ人について、正しく理解し、支援してください。



詳しい情報

日本てんかん協会鳥取県支部へご連絡ください。

てんかんの正しい理解のために

「てんかん」についてのQ&A



鳥取県

公益社団法人 日本てんかん協会
鳥取県支部

〒683-0001 米子市皆生温泉2-2-8
TEL・FAX (0859) 35-0505

ワーキンググループ

植田俊幸・垣屋稻二良・片平志保
吹野英明・前垣義弘・吉岡伸一
NPO法人あかり広場あかり

てんかんのある方の支援者等研修事業

Q てんかんをもつ人はどれくらいですか？

てんかんは、100~200人に1人の人にみられる病気です。日本には約100万人の患者さんがいます。また、世界中にも約5000万人の患者さんがいます。人口あたりのてんかんをもつ人の割合は世界中ほぼ同じです。

Q てんかんはどんな病気ですか？

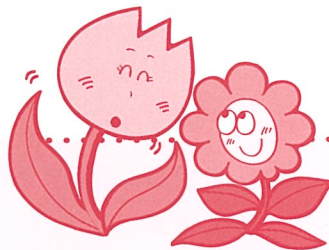
てんかんは、「てんかん発作」がくり返しおきる病気です。「てんかん発作」は、脳の神経の一部が活動しすぎるためにおこってきます。すなわち、**てんかんは神経の病気として理解**することが大切です。

今日でも、精神的・心理的な病気、生まれつきの病気、人からうつる病気、遺伝病などと、てんかんが起こる原因が誤って理解されている場合が見られます。

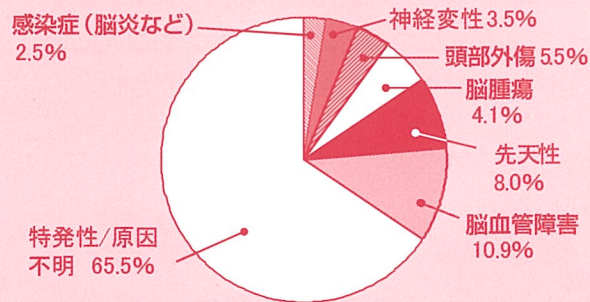


Q てんかんがおこる原因にはどのようなものがありますか？

てんかんがおこる原因（病因）について調べた報告によると、あきらかな病因がわかったものは約1/3にすぎず、**さまざまな原因でてんかんはおこってきます**。原因がわかったものとして最も割合が高いのは、脳血管の病気（脳出血など）で、頭のケガ（外傷）、脳腫瘍、感染症（脳炎）などが原因となることもあります。現在の医療で原因がわからないものは特発性/原因不明として分けられています。



てんかんの病因（ミネソタ、ハウザーら）

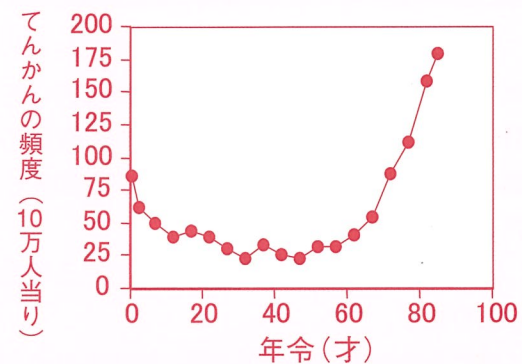


(出典：Hauser ら:Epilepsia,34:453,1993より)

Q てんかんはだれにでもおこるのですか？

てんかんはだれにでも、またどの年代でもおこる、ありふれた病気です。子どもとお年寄りにおこる頻度が高くなりますが、おとなになって初めておこる場合もあります。最近、子どものてんかんは減少し、お年寄りでは増加しています。また、**てんかんは、おこっても、適切な治療により、また自然経過のなかでなおることがあります**。

てんかんの発病率（ミネソタ、1935-1984）



(出典：Hauser ら:Epilepsia,34:453,1993より)

【ミニコラム】てんかんをもつ歴史上の著名人

古くはローマ時代のカエサル(シーザー)、魔女狩りで処刑されたジャンヌ・ダルク、オランダの画家ゴッホ、小説家のドストエフスキーやフローベール、日本人では博物学者の南方熊楠、最近では大江光さんなど、多くの著名人が、てんかんをもつ人として知られています。